

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010105

事業名		管渠築造事業		担当部署	上下水道部 下水道計画課																						
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例																									
令和2年度決算額		1,352,019	千円	項目評価																							
財源内訳	国道支出金	271,185	千円																								
	地方債	900,395	千円																								
	その他	11,140	千円																								
	一般財源	169,299	千円																								
事業費（総計）		1,352,019	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>総合評価</b>  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span> </div>																							
決算額		1,352,019	千円																								
人件費		0	千円																								
事業の目的		下水道管は、汚水や雨水を流すことで、衛生的な市民生活を維持すると共に、大雨の浸水被害を軽減する重要な施設です。その役割を果たすため、下水道管の整備や老朽化した下水道管の改築更新を計画的に行います。																									
事業の内容		SDGs17の目標		<p style="text-align: center;"><b>【下水道管新設工事】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【下水道管改築工事】</b></p>																							
		<p>1 汚水管整備について 東開町などの下水道未整備箇所において、汚水管を整備しました。</p> <p>2 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、しらかば町や宮前町などで雨水管の整備を実施しました。</p> <p>3 老朽化対策について 管渠の流下機能を維持するため、管路長寿命化計画に基づき、日の出町などで老朽化した管渠の改築更新を実施しました。</p>																									
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道普及率</td> <td>%</td> <td>99.2</td> <td>99.2</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>雨水面積整備率</td> <td>%</td> <td>74.8</td> <td>74.7</td> <td>74.6</td> </tr> <tr> <td>改築・更新延長（計画対象延長 35.9km）</td> <td>km</td> <td>18.3</td> <td>13.2</td> <td>7.9</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	下水道普及率	%	99.2	99.2	99.2	雨水面積整備率	%	74.8	74.7	74.6	改築・更新延長（計画対象延長 35.9km）	km	18.3	13.2	7.9		
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																							
下水道普及率	%	99.2	99.2	99.2																							
雨水面積整備率	%	74.8	74.7	74.6																							
改築・更新延長（計画対象延長 35.9km）	km	18.3	13.2	7.9																							
項目評価		高 → 低		評価の理由																							
		4	3	2	1																						
有効性		●				管渠築造事業は、衛生的で安全安心な市民生活に欠かすことができない下水道管の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。																					
効率性			●			国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略および管路長寿命化計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。																					
公平性		●				下水道の普及率は99%に達しており、衛生的で安全安心な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。																					
将来性			●			衛生的で安全安心な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。																					
総合評価		<span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span>		項目評価のとおり、事業目的に対して、効率的かつ効果的な事業運営が実施されています。今後も事業運営を考慮しながら、雨水管整備などの大雨対策や、老朽化した管渠の改築更新に取り組みたいと考えています。																							
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。																									








事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010106

事業名		ポンプ場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道計画課																																		
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例																																					
令和2年度決算額		165,446	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金	55,924	千円																																				
	地方債	107,980	千円																																				
	その他	1,539	千円																																				
	一般財源	3	千円																																				
事業費（総計）		165,446	千円																																				
決算額		165,446	千円																																				
人件費		0	千円	総合評価																																			
事業の目的		ポンプ場は、汚水を下水処理センターに送水することで、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に行います。																																					
事業の内容		<p>1 老朽化対策について</p> <p>ポンプ場の機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、幌内川中継ポンプ場の受変電設備や、明野中継ポンプ場の監視制御設備など、老朽化した機器の更新を実施しました。</p> <p style="text-align: center;">【幌内川中継ポンプ場受変電設備】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																																					
SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  </div> </div>																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストックマネジメント計画機器数(対象機器 27点)</td> <td>点</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>長寿命化計画機器数(対象機器 55点)</td> <td>点</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	ストックマネジメント計画機器数(対象機器 27点)	点	6	4	-	長寿命化計画機器数(対象機器 55点)	点	-	-	0																			
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																			
ストックマネジメント計画機器数(対象機器 27点)	点	6	4	-																																			
長寿命化計画機器数(対象機器 55点)	点	-	-	0																																			
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ポンプ場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができないポンプ場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				ポンプ場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができないポンプ場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。	効率性		●			国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。	公平性	●				下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。	将来性		●			衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。
	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				ポンプ場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができないポンプ場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。																																		
効率性		●			国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。																																		
公平性	●				下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。																																		
将来性		●			衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。																																		
総合評価		A				項目評価のとおり、事業目的に対して、効率的かつ効果的な事業運営が実施されています。今後も事業運営を考慮しながら、ポンプ場設備の改築更新に取り組みたいと考えています。																																	
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010107

事業名		下水道処理場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道計画課																																		
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例																																					
令和2年度決算額		343,231	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金	156,812	千円																																				
	地方債	183,225	千円																																				
	その他	3,191	千円																																				
	一般財源	3	千円																																				
事業費（総計）		343,231	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>A</b></td> </tr> </table>				総合評価		<b>A</b>																													
総合評価																																							
<b>A</b>																																							
決算額		343,231	千円																																				
人件費		0	千円																																				
事業の目的		下水道処理センターは、汚水を浄化することで公共水域の水質を保全し、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿化や改築更新を計画的に行います。																																					
事業の内容		<p>1 老朽化対策について</p> <p>下水道処理センターの機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、西町下水道処理センターの電気計装設備や、高砂下水道処理センターの水処理設備など、老朽化した機器の更新を実施しました。</p>																																					
SDGs17の目標																																							
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストックマネジメント計画機器数(対象機器 158点)</td> <td>点</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>長寿化計画機器数(対象機器 269点)</td> <td>点</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	ストックマネジメント計画機器数(対象機器 158点)	点	23	34	-	長寿化計画機器数(対象機器 269点)	点	-	-	54																			
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																			
ストックマネジメント計画機器数(対象機器 158点)	点	23	34	-																																			
長寿化計画機器数(対象機器 269点)	点	-	-	54																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>下水道処理場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができない下水道処理場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				下水道処理場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができない下水道処理場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。	効率性		●			国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。	公平性	●				下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。	将来性		●			衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。
項目	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				下水道処理場築造事業は、衛生的な市民生活に欠かすことができない下水道処理場の整備や維持を行う、必要不可欠な事業であることから、「4」としました。																																		
効率性		●			国の交付金を活用しながら、上下水道事業経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していることから、「3」としました。																																		
公平性	●				下水道の普及率は99%に達しており、衛生的な市民生活に欠かすことができない必要不可欠な事業であるため、「4」としました。																																		
将来性		●			衛生的な市民生活を持続させるため、継続して事業を実施していく必要があることから、「3」としました。																																		
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり、事業目的に対して、効率的かつ効果的な事業運営が実施されています。今後も事業運営を考慮しながら、下水道処理センター設備の改築更新に取り組みたいと考えています。																																	
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費

事務事業番号 01010408

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 総務課		
根拠法令		下水道法、水質汚濁防止法					
令和2年度決算額		2,775	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	2,775	千円				
事業費（総計）		2,775	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 <b>A</b></div>			
決算額		2,775	千円				
人件費		0	千円				
事業の目的		下水処理場からの放流水が法令に定める水質基準に適合しているかどうかを調べるため、水質検査を実施する必要がありますが、検査に使用するための機器類が老朽化しているため更新を行いました。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>水質検査用機器類の更新</p> <p>インキュベーター 1台 検体を一定の温度に保ち保管するための機器</p> <p>分光光度計 1台 窒素、リン、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素を測定するための機器</p> <p>純水製造装置 1台 水質検査に必要な純水を製造するための機器</p> <p>電気炉 1台 検体を加熱乾燥後、強熱で灰化させ有機物の割合を測定するために使用する機器</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		水質検査用機器の更新		台	4	4	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				各種水質基準値の正確な計測のための機器の更新は、更なる放流水の安全性の確認に寄与しています。	
効率性		●				各種機器については、老朽化が著しく、業務に支障を及ぼすものから順次更新することで、効率的に水質検査業務を実施できるようにしています。	
公平性		●				放流水が水質基準に適合しているかどうかは、市民の安全・安心な生活に直結するため、必要不可欠な事業といえます。	
将来性			●			今後も継続的に水質検査用機器を更新することで、より正確かつ効率的に水質検査業務を実施できると考えられます。	
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおり目的に合った固定資産の整備ができています。翌年度以降もより効果的な事業とするため、導入予定の固定資産の有効性、業務効率化について十分検討し、費用対効果の高い資産整備を実施していきたいと考えています。			
特記事項		※事業費に人件費は含まれておりません。					